

令和2年度事業報告

I. 総括

会員の皆様方におかれましては、平素より本会の事業にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。本年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い計画されていた事業の多くが中止せざるを得ない状況になりました。事業報告として具体的には後述致しますが、まず公益事業1の「医用放射線の安全利用に関する知識の普及啓発を図り、保健の向上に寄与する事業」に関し令和2年11月にフジグラン松山にて開催予定しておりました10回目となるレントゲン週間イベント、また、県教育委員会や松山市PTA連合会と連携し、毎年行っている活動（キッズジョブ・お仕事フェスタなど）に関しても中止となりました。そして、令和2年12月5日・6日に第14回愛媛県診療放射線技師学術大会の開催を計画しておりましたが、全国的な感染者増加の兆候や11月半ばからの愛媛県内での感染者数の急増など通常開催の環境が整わず、いったん中止とし2月末のWeb開催を準備することに致しました。そして2月28日、初めての開催形態ではありましたが学術委員をはじめ関係各位のご尽力と発表者、座長の皆様方のご協力により無事、学術大会を開催することができました。また情宣といたしましては技師会の事業等はもちろん関連団体の有益な情報も『愛媛放射線』やホームページを利用して会員の皆様方に周知を図って参りました。

次に、公益事業2の「放射線技術学の調査研究を図り、健康管理支援及び医療・保健の向上に寄与する事業」に関しても計画しておりました愛媛県診療放射線技師会 学術研修会、管理士部会研修会、マドンナ部会研修会、また例年、各支部研修会として開催しておりました南予部会研修会、東予部会研修会のすべてが新型コロナウイルス感染拡大対応のため残念ながら中止となりました。最後に日本診療放射線技師会主催ではありますが、令和2年度フレッシューズセミナーを天候不順、新型コロナウイルス感染拡大の影響で2回の延期となりましたが、10月3日に愛媛大学医学部にて通常開催することができました。

令和2年度は、4月～5月の緊急事態宣言に始まり、地域限定ではありますが1月～3月の緊急事態宣言と新型コロナウイルス感染症に翻弄される1年になりました。我々医療者として日々の業務でもストレスがかかることも多かったと思います。こうしたコロナ禍の中、学術大会、理事会、常務理事会などをWeb開催することで新たな運営形態を模索し、組織としてAfterコロナ、Withコロナに向けての再構築を開始いたしました。

Ⅱ. 庶務報告

1. 本会役員

会 長	水口 司
副 会 長	大元 謙二 渡辺 真由美

○地区理事

東 予 地 区	谷川 達也 源 秀一
南 予 地 区	平野 尚 田中 正人

○常務理事

事 業 推 進	岡本 隆
総 務	茂木 大志
財 務	大西 恭平
学術・教育	小池 大作 羽藤 寛文 和田 彬
渉外・情宣	新山 博 木村 浩之
庶 務	小島 明彦
監 事	富永 亨 石山 喜久 水田 智
顧 問	西田 史生 塩崎 恭久（衆議院議員）

2. 会議開催状況

(1) 定期総会

第 66 定期総会を令和 2 年 6 月 14 日（日）、愛媛県厚生連健診センター（松山市）にて開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止とした。同日、松山市総合コミュニティセンターにおいて、感染防止対策を十分行った上で会長・副会長・総務担当理事・監事によって委任状と書面評決を集計し、その結果各議案は全て承認された。（参加：5 名、委任状 85 名 書面表決 184 名）

(2) 理事会

令和 2 年度は 3 回（令和 2 年 4 月 18 日（土）、令和 2 年 9 月 26 日（土）、令和 3 年 3 月 20 日（土））に開催し、重要案件について審議処理した。

(3) 常務理事会

令和 2 年度は 12 回開催し、すべての案件について審議処理した。

(4) 各種委員会

○ 表彰委員会

- ・ 愛媛県診療放射線技師会会長表彰を3名選出した。
- ・ 日本診療放射線技師会主催表彰である「勤続30年表彰」対象者を9名推薦した。

○ 愛媛県診療放射線技師学術大会実行委員会

第14回愛媛県診療放射線技師学術大会開催に向け実行委員会を設置し、企画・運営した。

3. 会員動向状況

令和3年3月末現在の会員数は、420名。新入会員13名、転入者0名、転出者1名、退会者23名（退会16名、会員資格喪失7名）であった。

III. 事業報告

1. 医用放射線の安全利用に関する知識の普及啓発を図り、保健の向上に寄与する事業

概要の説明 医用放射線の安全利用に関する知識の普及啓発の手段としての学術講演会・機関誌の発行・イベントの開催及びホームページを通してその情報の提供・開示を行い、広く県民へ医療における放射線利用の有用性の周知を図り健康支援に寄与する事業。

(1) 第14回愛媛県診療放射線技師学術大会

令和2年12月5日（土）から6日（日）開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い延期とし、令和3年2月28日（日）、web方式にて開催した。内容については、一般演題9題、フレッシュャーズセッション4題。特別講演『画像診断の近未来～AIの活用と産学連携～』（愛媛大学大学院医学系研究科 放射線医学 教授 城戸 輝仁）。参加者は77名。

(2) レントゲン週間

令和2年11月10日（日）、フジグラン松山にて開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止とした。

(3) 調査研究に対する表彰

令和2年度第1回理事会において、今回の表彰は新型コロナウイルス感染拡大の影響で東予部会研修会等が開催されなかった為、公平を期するという理由で表彰は行わない事に決定。

(4) 機関誌の発行、ホームページの作成・公開

機関誌「愛媛放射線」 No. 90 を令和2年5月に発刊。

(5) 教育の場での活動（出前授業）

① ジョブチャレンジU-15（愛媛県モデル事業）

県立中等教育学校3校（松山西中、今治東中、宇和島南中）を対象に各校10名程度を病院に受け入れ、2～5日間の体験学習を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止。

② キッズジョブまつやま2020（松山市PTA連合会主催）

令和2年12月6日（日）、松山市総合コミュニティセンターにて開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止。

③ お仕事フェスタ（河原学園主催）

令和3年3月6日（土）・7日（日）、新型コロナウイルス感染拡大の伴い参加を辞退。

2. 放射線技術学の調査研究を図り、健康管理支援及び医療・保健の向上に寄与する事業

概要の説明 放射線の管理及び障害防止に関する調査研究及び診療放射線技術学の向上を図り、放射線の安全利用と放射線治療の有用性の向上を図り、もって県民の保健の向上に寄与することを目的とする事業。

(1) 愛媛県診療放射線技師会研修会・愛媛県学術研修会

新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止。

(2) 管理士部会研修会

新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止。

(3) マドンナ部会研修会

新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止。

(4) 東・南予の各支部研修会

① 東予部会研修会は新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止。

② 南予部会研修会は新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止。

(5) 基礎技術講習会（血管造影）

新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止。

(6) フレッシュアップセミナー

令和2年10月3日（日）、愛媛大学医学部 本館 基礎第二講義室にて感染防止対策を十分に行った上で開催。参加者は12名（会員：4名、非会員：8名）。

IV. 法人の運営に関する事業

1. 会費早期納入の促進

日本診療放射線技師会と合算請求を行う。

2. 財政の充実

放射線関連企業に「愛媛放射線」の広告を依頼し、財政の充実を図った。

3. 県技役員歴のシステム化

役員歴を整理し、潜在表彰者をシステム管理化し更新。

4. 学術文化活動の推進

○ 令和2年度日本診療放射線技師学術大会

令和3年1月8（金）～31日（日）、web方式で開催された第36回日本診療放射線技師学術大会に、本県より76名が参加した。

○ 中四国放射線医療技術フォーラム2020

令和2年11月7日（土）～8日（日）、米子コンベンションセンター（鳥取県米子市）において開催予定の第16回中四国放射線医療技術フォーラムは新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止。